
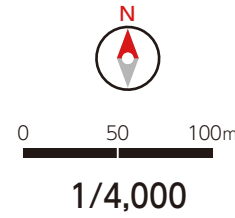






# ため池ハザードマップ

## 凡例

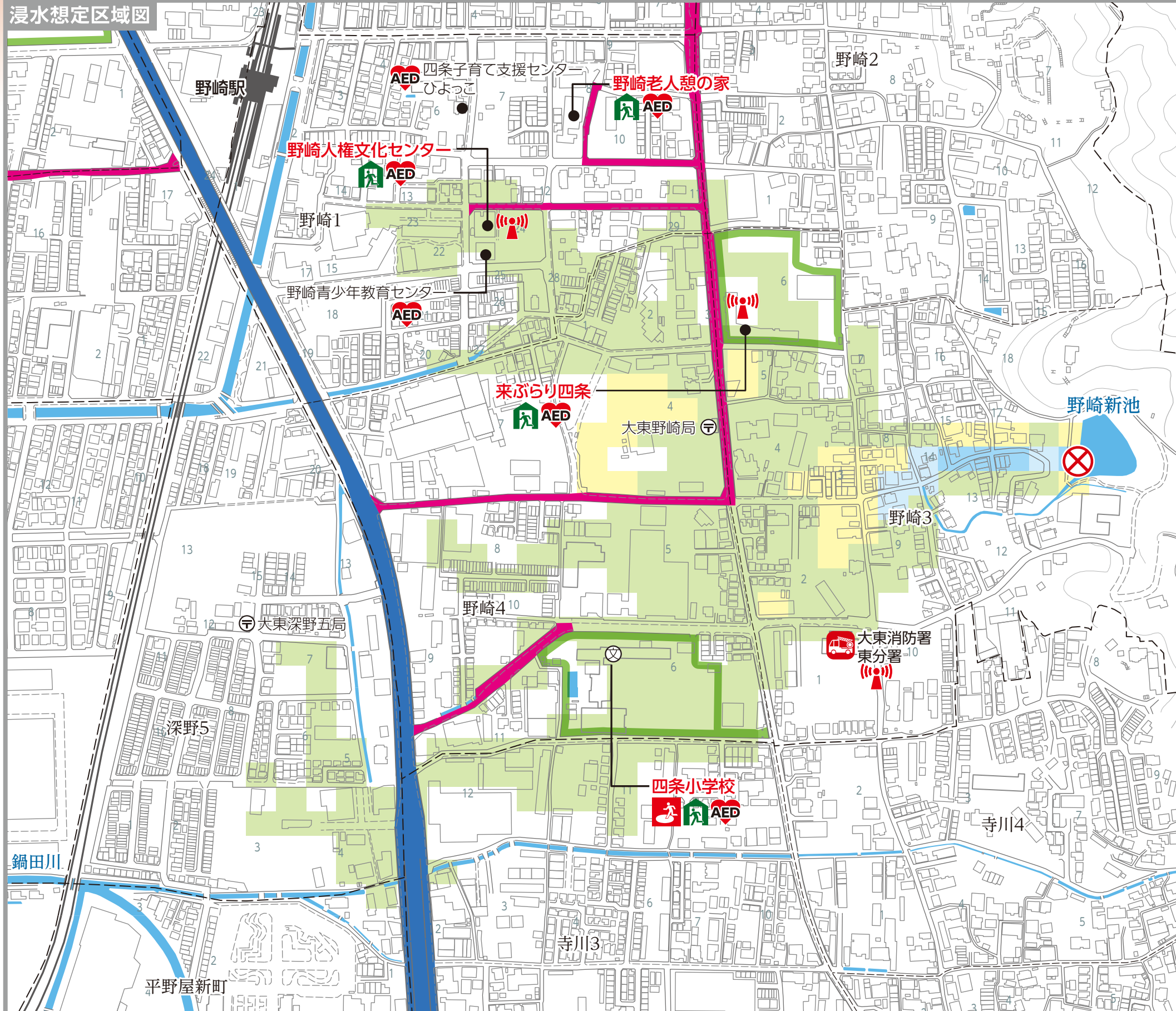
-  指定緊急避難場所
-  AED
-  指定避難所
-  広域緊急交通路
-  消防署
-  地域緊急交通路
-  防災行政無線



## 浸水した場合に想定される水深

-  …2.0m～3.0m未満
-  …1.0m～2.0m未満
-  …0.5m～1.0m未満
-  …0.5m未満

浸水想定区域図



## ハザードマップ活用の留意点

- ①野崎新池は平成 25 年度に実施した耐震診断結果より、大規模地震（震度 6 クラス）に対し耐震性能を有している事が確認されていますが、想定を超える大地震等により、万が一ため池が決壊した場合を仮定し、避難時等に活用していただくため、このハザードマップを作成しました。
- ②災害発生時には、このハザードマップで示した浸水想定区域以外でも、浸水の生じる可能性がありますので、状況に応じた柔軟な避難行動を心掛けてください。

## シミュレーションの条件

- ①氾濫による浸水範囲は、ため池堤防が決壊した場合に予想される最大規模を想定し、決壊する位置はため池西側の堤防としています。
- ②決壊時におけるため池の貯水量は満水（約 9,000 t）とし、堤防決壊時にはすべての水が流れ出すと仮定しています。
- ③ため池堤防が決壊する進行速度は被災要因によって様々ですが、堤防が瞬時に決壊すると仮定しています。
- ④氾濫シミュレーションは、地形を 25mメッシュに分割したモデルを用い、決壊により氾濫した水がどのように流れるかを計算しています。

## 決壊想定箇所図

